

令和5年度社会教育主事講習(資格付与)募集要項

国立大学法人 滋賀大学

1 目的

本講習は、社会教育法(昭和24年6月10日法律第207号)第9条の5の規定及び社会教育主事講習等規程(昭和26年6月21日文部省令第12号)に基づき実施するもので、社会教育主事の資格を得ようとする者にその職務を遂行するに必要な専門的知識、技能を修得させ、社会教育主事となり得る資格を付与することを目的とします。

2 主催 文部科学省

3 実施機関 国立大学法人 滋賀大学

4 開催期間 令和5年7月15日(土)～8月23日(水)

※上記期間のうち、

・7月15日(土)及び、8月1日(火)～8月23日(水)は、対面講習期間

(ただし、8月1日～8月23日の期間は、土・日曜日及び、8月11日～8月16日の一斉休業期間を除く。)

・7月16日(日)～7月31日(月)は、オンライン講習(オンデマンド型)期間

※対面講習期間中に非常変災等が発生した場合、及び新型コロナウイルス感染症が拡大した場合は、オンライン講習等に切り替えて実施します。なお、講習期間の日程が変更になることがあります。

5 実施場所 滋賀大学大津キャンパス(大津市平津二丁目5番1号) 他

6 受講資格 [社会教育主事講習等規程第2条](#)の各号のいずれかに該当する者

7 受講定員 50名

8 講習プログラム 別表1のとおり

・科目名、単位数、内容・テーマ、実施方法、配当時間数及び担当講師

9 講習日程 別表2のとおり

10 受講に要する経費

受講料は徴収しませんが、次の経費は受講者の負担とします。

(1) 交通費、食費、宿泊費等。

(2) オンライン講習における機器設備や通信代金等。

(3) テキスト代及び研究集録代等の諸経費として 5,000円を徴収します。

※ 受講に必要なテキストや受講のしおりは受講許可書の送付時に同封します。

※ テキスト代金等の諸経費の支払方法については、受講許可書の送付時にお知らせします。

11 受講申込方法

(1) 教員または行政の職員の場合

- 受講希望者は、次の①②③の書類を整え、勤務地の府県教育委員会事務局に提出してください。提出期限は教育委員会ごとに異なりますので、提出先の教育委員会にお尋ねください。

①受講申込書……(様式1)

②受講資格を証明する書類(受講資格に応じて、次のいずれかを提出してください)

ア. 卒業又は修了証明書(規程第2条第1号該当者)

イ. 教員免許状の写し (規程第2条第2号該当者)

ウ. 勤務証明書 (規程第2条第3~5号該当者)……(様式2)

③府県又は市町教育委員会の受講推薦状

※②教員免許状の写しを提出する場合は、所属長又は所轄長の原本と相違ない旨の証明付きのものであること。

※②の証明書に記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を併せて提出してください。

- 府県教育委員会は、上記書類により受講資格の有無を審査の上、上記受講申込書等の提出書類に受講申込者名簿(本学様式)を添え、6月22日(木)16時(必着)までに、滋賀大学教育学部企画係あてに郵送してください。なお、受講申込者名簿(本学様式)について、6月22日(木)16時(必着)までに、電子データでもご提出ください。

(2)(1)以外の者

- 本講習は、教員または行政の職員を対象としていますが、講習実施に支障のない範囲でこれ以外の者の受講を認めることがあります。受講希望者は、居住地又は勤務地の府県教育委員会事務局に提出してください。提出期限は教育委員会ごとに異なりますので、提出先の教育委員会にお尋ねください。

①受講申込書……(様式1)

②受講資格を証明する書類

ア. 卒業又は修了証明書(規程第2条第1号該当者)

③受講希望理由書(1,000字程度)……(任意の様式)

- 府県教育委員会は、上記書類により受講資格の有無を審査の上、上記受講申込書等の提出書類に受講申込者名簿(本学様式)を添え、6月22日(木)16時(必着)までに、滋賀大学教育学部企画係あてに郵送してください。なお、受講申込者名簿(本学様式)について、6月22日(木)16時(必着)までに、電子データでもご提出ください。

12 講習科目の代替について

社会教育主事講習規程第7条第2項及び第3項の規定により、大学における科目の既修得単位及び 文部科学大臣が定める学修をもって、社会教育主事講習の科目の単位として認定を希望する場合は、次の①②③の書類を整え、受講申込書等の提出期限までに必要書類とともに、居住地又は勤務地の府県教育委員会事務局に提出してください。

①社会教育主事講習単位修得認定申請書……(様式3)

②「単位修得証明書」(原本)……「成績証明書」は不可。

③当該代替希望科目が社会教育主事資格取得の相当科目であることが明記されている書類(履修要項やシラバス等)のコピー

13 分割履修について

認めない

14 受講者の選定

運営委員会の意見を聴取した上で実施機関が選定します。

- ・連絡事項を添えて、受講決定通知書を、7月初旬頃に本人宛に発送します。
- ・選定結果を、7月初旬頃にメールにて府県教育委員会に通知します。

15 単位修得の認定

講習修了後に、各科目の出席状況、演習における発表、レポート及び報告書等による総合判定の上、合格した者に対して行います。

16 修了証書の授与

社会教育主事講習規程第3条に定める8単位を修得した者に対し、修了証書を授与します。併せて、講習修了者は「社会教育士」の称号が得られます。

17 交通手段について

受講に際しては、公共交通機関をご利用ください。ただし、特別な事情により自家用車での来学・駐車を必要とする場合は、様式4に必要事項を記入のうえ、申込書類等とともに提出してください。

➤ 交通アクセス

ホームページ：滋賀大学 > 交通アクセス > 大津キャンパス のページ

<https://www.shiga-u.ac.jp/access/access-otsu/>

18 宿泊について

宿泊の斡旋は行いません。

19 生協食堂について

生協食堂及び購買を利用することができます。営業日・営業時間等は滋賀大学大津地区生活協同組合ホームページ(<https://otsu.u-coop.net/>)をご確認ください。

20 個人情報の取扱について

提出された書類等に記載された氏名、住所、電話番号等の個人情報は、下記の目的に限り利用します。

- (1) 滋賀大学における社会教育主事講習の実施に関する業務
- (2) 各府県教育委員会において、受講者への連絡調整及び履修認定等に必要と認める場合

21 その他

- (1) 講習及び移動中の事故や病気等に備え、傷害保険に加入するなど各自の責任で万全を期すること。
- (2) 実施方法が演習の講習では、グループワーク、レポート作成等のため、ノートパソコンを各自持参すること。
- (3) 講習期間中はオンライン講習を実施するため、各自、自宅等でオンライン受講ができる環境を準備しておいてください。

【担当】 滋賀大学 教育学部 企画係

TEL:077-537-7701 FAX:077-537-7840

E-mail:kikaku@edu.shiga-u.ac.jp

講習 HP: <https://www.edu.shiga-u.ac.jp/r5syakaikoiku/>

別表 1

令和5年度社会教育主事講習「科目名・内容・テーマ」

※プログラムは予定のため、変更されることがあります。ご了承ください。

| 科目名 | 単位数 | 講義内容・テーマ | 実施及び教育方法 | 配当 時間数 | 講師 |
|---------|-----|--|-----------|-----------|--|
| 生涯学習概論 | 2 | 1. 生涯学習・社会教育の概念 | 対面型講義 | 2 | 滋賀大学教育学部 教授 神部 純一 |
| | | 2. 社会教育の内容と課題 | 対面型講義 | 2 | 滋賀大学教育学部 教授 神部 純一 |
| | | 3. 生涯学習と環境 | 対面型講義 | 2 | 滋賀大学研究推進機構 教授 市川 智史 |
| | | 4. 社会教育行政の組織と役割 | 対面型講義 | 2 | 滋賀大学教育学部 准教授 藤村 祐子 |
| | | 5. 「開かれた学校」の現状を把握する | 対面型講義 | 2 | 立命館大学経済学部 准教授 武井 哲郎 |
| | | 6. 学校・家庭・地域の連携・協働の意義と課題 | 対面型講義 | 2 | 立命館大学経済学部 准教授 武井 哲郎 |
| | | 7. 人権問題と人権意識 －人権教育・啓発の基盤について考える－ | 対面型講義 | 2 | 滋賀大学 名誉教授 梅田 修 |
| | | 8. 社会教育主事・社会教育士の職務と役割 | 対面型講義 | 2 | 東近江市立五個荘小学校 教諭 川口 朋也 日野町立日野小学校 校長 岩脇 俊博 |
| | | 9. 地域づくり人材の育成 | 対面型講義 | 2 | 滋賀県立大学地域共生センター 講師 上田 洋平 |
| | | 10. インクルーシブな学校・地域づくり | 対面型講義 | 2 | 滋賀大学教育学部 教授 窪田 知子 |
| | | 11. 生涯学習推進政策の動向 | オンデマンド型講義 | 2 | 文部科学省 |
| | | 12. 社会教育の歴史 | オンデマンド型講義 | 2 | 滋賀大学教育学部 教授 神部 純一 |
| | | 13. 社会教育における団体、サークル、NPO | オンデマンド型講義 | 2 | 滋賀大学教育学部 教授 神部 純一 |
| | | 14. 府県における社会教育行政の動向 | オンデマンド型講義 | 2 | 滋賀県教育委員会事務局生涯学習課 参事 宮崎 良一 |
| | | 15. 市町における社会教育行政の動向 －大津市における生涯学習施策－ | オンデマンド型講義 | 2 | 大津市教育委員会事務局生涯学習課 課長補佐 高見 勇人 |
| 生涯学習支援論 | 2 | 1. 成人教育の理論と実際 I | 対面型講義 | 2 | 天理大学人間学部 教授 岡田 龍樹 |
| | | 2. 成人教育の理論と実際 II | 対面型講義 | 2 | 天理大学人間学部 教授 岡田 龍樹 |
| | | 3. 高齢期の学習理論 | 対面型講義 | 2 | 滋賀大学教育学部 教授 神部 純一 |
| | | 4. 高齢学習者の理解 | 対面型講義 | 2 | 滋賀大学教育学部 教授 神部 純一 |
| | | 5. 生涯発達からみた学習者の特性 | 対面型演習 | 2 | 佛教大学教育学部 非常勤講師 内山 淳子 |
| | | 6. 多文化共生社会と生涯学習支援 | 対面型講義 | 2 | 滋賀大学教育学部 教授 児玉 奈々 |
| | | 7. 地域再生と生涯学習支援 | 対面型講義 | 2 | 滋賀大学教育学部 教授 神部 純一 |
| | | 8. 男女共同参画と生涯学習支援 | 対面型講義 | 2 | 元滋賀県男女共同参画センター長 青地 弘子 |
| | | 9. 学習プログラムの基本的視点 | 対面型講義 | 2 | 法政大学キャリアデザイン学部 教授 久井 英輔 |
| | | 10. 学習プログラム作成の実際 | 対面型講義・演習 | 2 | 法政大学キャリアデザイン学部 教授 久井 英輔 |
| | | 11. 社会教育の方法・形態の理論と実際 | 対面型講義・演習 | 4 | 大分大学大学院教育学研究科 教授 清國 祐二 |
| | | 12. ファシリテーションの基本と実際 | 対面型講義・演習 | 4 | 大分大学大学院教育学研究科 教授 清國 祐二 |
| | | 13. 家庭教育と生涯学習支援 | 対面型講義 | 2 | 神戸学院大学人文学部 教授 井上 豊久 |

| 科目名 | 単位数 | 講義内容・テーマ | 実施及び教育方法 | 配当 時間数 | 講 師 |
|---------|-----|------------------------------|-----------|-----------|---|
| 社会教育経営論 | 2 | 1. 社会教育における調査Ⅰ －調査設計の方法－ | 対面型講義 | 2 | 滋賀大学教育学部 教授 太田 拓紀 |
| | | 2. 社会教育における調査Ⅱ －調査の実際と集計－ | 対面型講義 | 2 | 滋賀大学教育学部 教授 太田 拓紀 |
| | | 3. ネットワーク型行政と社会教育 | 対面型講義 | 2 | 神戸学院大学人文学部 教授 井上 豊久 |
| | | 4. 博物館の経営戦略 | 対面型講義 | 2 | 滋賀県立琵琶湖博物館研究部 部長 芳賀 裕樹 |
| | | 5. 図書館の経営戦略 | 対面型講義 | 2 | 滋賀県立図書館 館長 村田 恵美 |
| | | 6. 社会教育の評価 | 対面型講義 | 2 | 広島修道大学人文学部 教授 山川 肖美 |
| | | 7. 社会教育の成果の活用 | 対面型講義 | 2 | 広島修道大学人文学部 教授 山川 肖美 |
| | | 8. 地域課題の分析と把握 | 対面型講義 | 2 | 滋賀大学教育学部 教授 神部 純一 |
| | | 9. 生涯学習とボランティア | 対面型講義 | 2 | 滋賀大学教育学部 教授 神部 純一 |
| | | 10. 社会教育行政と市民協働 | 対面型講義 | 2 | 龍谷大学政策学部 教授 只友 景士 |
| | | 11. 公民館の経営戦略 | 対面型講義 | 2 | 日野町立東桜谷公民館 館長 小森 善和 日野町教育委員会生涯学習課 課長 加納 治夫 |
| | | 12. 社会教育・生涯学習計画Ⅰ | オンデマンド型講義 | 2 | 大阪教育大学総合教育系 教授 出相 泰裕 |
| | | 13. 社会教育・生涯学習計画Ⅱ | オンデマンド型講義 | 2 | 大阪教育大学総合教育系 教授 出相 泰裕 |
| | | 14. 情報提供・相談と広報 | オンデマンド型講義 | 2 | 滋賀大学教育学部 教授 神部 純一 |
| | | 15. 社会教育におけるコーディネート | オンデマンド型講義 | 2 | 天理大学人間学部 教授 佐々木 保孝 |
| 社会教育演習 | 2 | 1. オリエンテーション | 対面型演習 | 2 | 【高齢者支援】 ①滋賀大学教育学部 教授 神部 純一 【子ども・若者支援】 ②滋賀大学教育学部 教授 太田 拓紀 【地域づくり・まちづくり】 ③滋賀県教育委員会 主幹 川口 進一郎 【地域と学校の協働】 ④滋賀県教育委員会 主任主事 吉本 武史 滋賀県CSアドバイザー 北島 泰雄 【家庭教育支援】 ⑤滋賀県教育委員会 主任主事 桂 晴樹 |
| | | 2. 施設訪問・ディスカッション | 対面型演習 | 10 | |
| | | 3. 共同課題設定 | 対面型演習 | 8 | |
| | | 4. 個別研究役割分担 | 対面型演習 | 2 | |
| | | 5. 資料・情報収集 | 対面型演習 | 4 | |
| | | 6. 研究協議 | 対面型演習 | 6 | |
| | | 7. 研究協議 | 対面型演習 | 4 | |
| | | 8. 研究総括、成果発表準備 | 対面型演習 | 6 | |
| | | 9. 成果発表準備 | 対面型演習 | 4 | |
| | | 10. 研究成果発表 | 対面型演習 | 4 | |

* 生涯学習概論 :30時間

* 生涯学習支援論:30時間

* 社会教育経営論:30時間

* 社会教育演習 :50時間

総時間数 :140時間

別表2

令和5年度 滋賀大学社会教育主事講習（資格付与）日程表

生涯学習概論、社会教育経営論、生涯学習支援論、社会教育演習

※プログラムは予定のため、変更されることがあります。ご了承ください。

| | 9:00～10:30 | 10:40～12:10 | 13:00～14:30 | 14:40～16:10 | 16:20～17:50 | | |
|----------|--|---|---|---|--|--------|------|
| 7月15日（土） | | 開講式 | 【生涯学習概論】 生涯学習・社会教育の概念 神部純一（滋賀大学） | 【生涯学習概論】 社会教育の内容と課題 神部純一（滋賀大学） | | 対面 | |
| 7月16日（日） | 【生涯学習概論】 生涯学習推進政策の動向 文部科学省 | 【生涯学習概論】 社会教育の歴史 神部純一（滋賀大学） | 【生涯学習概論】 社会教育における団体、サークル、NPO 神部純一（滋賀大学） | 【生涯学習概論】 府県における社会教育行政の動向 宮崎良一（滋賀県教育委員会） | 【生涯学習概論】 市町における社会教育行政の動向 —大津市における生涯学習施策— 高見勇人（大津市教育委員会） | オンデマンド | |
| 7月31日（月） | 【社会教育経営論】 社会教育・生涯学習計画Ⅰ 出相泰裕（大阪教育大学） | 【社会教育経営論】 社会教育・生涯学習計画Ⅱ 出相泰裕（大阪教育大学） | 【社会教育経営論】 情報提供・相談と広報 神部純一（滋賀大学） | 【社会教育経営論】 社会教育におけるコーディネート 佐々木保孝（天理大学） | | | |
| | 9:00～10:30 | 10:40～12:10 | 13:00～14:30 | 14:40～16:10 | 16:20～17:50 | | |
| 8月1日（火） | 【生涯学習概論】 生涯学習と環境 市川智史（滋賀大学） | 【生涯学習概論】 社会教育行政の組織と役割 藤村祐子（滋賀大学） | 【生涯学習概論】 「開かれた学校」の現状を把握する 武井哲郎（立命館大学） | 【生涯学習概論】 学校・家庭・地域の連携・協働の意義と課題 武井哲郎（立命館大学） | 【生涯学習概論】 人権問題と人権意識 —人権教育・啓発の基盤について考える— 梅田修（滋賀大学名誉教授） | 対面 | |
| 8月2日（水） | 【生涯学習概論】 社会教育主事・社会教育士の職務と役割 川口朋也（東近江市立五個荘小学校） 岩脇俊博（日野町立日野小学校） | 【生涯学習概論】 地域づくり人材の育成 上田洋平（滋賀県立大学） | 【生涯学習概論】 インクルーシブな学校・地域づくり 窪田知子（滋賀大学） | 【生涯学習支援論】 成人教育の理論と実際Ⅰ 岡田龍樹（天理大学） | 【生涯学習支援論】 成人教育の理論と実際Ⅱ 岡田龍樹（天理大学） | | |
| 8月3日（木） | 【生涯学習支援論】 高齢期の学習理論 神部純一（滋賀大学） | 【生涯学習支援論】 高齢学習者の理解 神部純一（滋賀大学） | 【生涯学習支援論】 生涯発達からみた学習者の特性 内山淳子（佛教大学） | 【生涯学習支援論】 多文化共生社会と生涯学習支援 児玉奈々（滋賀大学） | | | |
| 8月4日（金） | 【生涯学習支援論】 地域再生と生涯学習支援 神部純一（滋賀大学） | 【生涯学習支援論】 男女共同参画と生涯学習支援 青地弘子（元滋賀県男女共同参画センター長） | 【生涯学習支援論】 学習プログラムの基本的視点 久井英輔（法政大学） | 【生涯学習支援論】 学習プログラム作成の実際 久井英輔（法政大学） | | | |
| 8月7日（月） | 【生涯学習支援論】 社会教育の方法・形態の理論と実際 清國祐二（大分大学） | 【生涯学習支援論】 社会教育の方法・形態の理論と実際 清國祐二（大分大学） | 【生涯学習支援論】 ファシリテーションの基本と実際 清國祐二（大分大学） | 【生涯学習支援論】 ファシリテーションの基本と実際 清國祐二（大分大学） | 【社会教育演習】 オリエンテーション | | |
| 8月8日（火） | 【社会教育経営論】 社会教育における調査Ⅰ—調査設計の方法— 太田拓紀（滋賀大学） | 【社会教育経営論】 社会教育における調査Ⅱ—調査の実際と集計— 太田拓紀（滋賀大学） | 【生涯学習支援論】 家庭教育と生涯学習支援 井上豊久（神戸学院大学） | 【社会教育経営論】 ネットワーク型行政と社会教育 井上豊久（神戸学院大学） | | | |
| 8月9日（水） | 【社会教育経営論】 博物館の経営戦略 芳賀裕樹（滋賀県立琵琶湖博物館） | 【社会教育経営論】 図書館の経営戦略 村田恵美（滋賀県立図書館） | 【社会教育経営論】 社会教育の評価 山川肖美（広島修道大学） | 【社会教育経営論】 社会教育の成果の活用 山川肖美（広島修道大学） | | | |
| 8月10日（木） | 9:00～17:50 【社会教育演習】 施設訪問・ディスカッション | | | | | | 現地実習 |
| | 9:00～10:30 | 10:40～12:10 | 13:00～14:30 | 14:40～16:10 | 16:20～17:50 | | |
| 8月17日（木） | 【社会教育経営論】 地域課題の分析と把握 神部純一（滋賀大学） | 【社会教育経営論】 生涯学習とボランティア 神部純一（滋賀大学） | 【社会教育経営論】 社会教育行政と市民協働 只友景士（龍谷大学） | 【社会教育経営論】 公民館の経営戦略 小森善和（日野町立東桜谷公民館） 加納治夫（日野町教育委員会） | | 対面 | |
| 8月18日（金） | 【社会教育演習】 共同課題設定 | | | | 【社会教育演習】 個別研究役割分担 | | |
| 8月21日（月） | 【社会教育演習】 資料・情報収集 | | 【社会教育演習】 研究協議 | | | | |
| 8月22日（火） | 【社会教育演習】 研究協議 | | 【社会教育演習】 研究総括、成果発表準備 | | | | |
| 8月23日（水） | 9:00～10:30 | 10:40～12:10 | 13:00～15:30 | 16:00～16:30 | | | |
| | 【社会教育演習】 成果発表準備 | | 【社会教育演習】 研究成果発表 | 閉講式 | | | |